

製品名: COL1A1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82342**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	139kDa

抗原情報

遺伝子名	COL1A1
別名	OI1; OI2; OI3; OI4; EDSC; EDSARTH1
遺伝子 ID	1277.0
SwissProt ID	P02452
免疫原	大腸菌で発現したヒト COL1A1 (AA: 1219-1464) の精製された組み換え断片。

背景

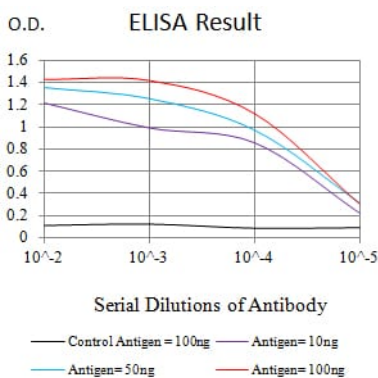
この遺伝子は、2つの $\alpha 1$ 鎖と1つの $\alpha 2$ 鎖からなる三重らせん構造を持つI型コラーゲンのプロ $\alpha 1$ 鎖をコードしている。I型は、ほとんどの結合組織に見られる原線維形成コラーゲンで、骨、角膜、真皮、腱に豊富に存在する。この遺伝子の変異は、骨形成不全症I

~IV型、エーラスダンロス症候群 VIIA型、エーラスダンロス症候群古典型、カフェー病、特発性骨粗鬆症に関連している。この遺伝子と血小板由来成長因子βの遺伝子が存在する17番染色体と22番染色体の間の相互転座は、成長因子の無秩序な発現に起因する隆起性皮膚線維肉腫と呼ばれる特定の皮膚腫瘍に関連している。この遺伝子については、交互ポリアデニル化シグナルの使用に起因する2つの転写産物が特定されている。[R. Dalgleish 提供、2008年2月]

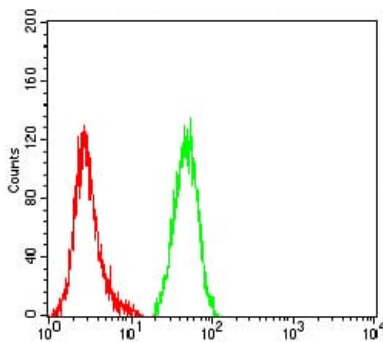
研究分野

PI3K-Aktシグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



COL1A1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。